

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1306））

2. 日 時：平成30年10月3日 10時00分～11時15分

13時30分～21時30分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

江崎企画調査官、吉村上席安全審査官、植木主任安全審査官、千明主任安全審査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、日南川安全審査官、三浦安全審査官、服部安全審査専門職、

（技術基盤グループ 地震・津波研究部門）

山崎主任技術研究調査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：開発計画室 室長代理 他17名

東北電力株式会社：土木建築部（土木建築業務） 副長

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 機器耐震技術グループ 担当

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 担当 他1名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保修部 保修計画課 担当

電源開発株式会社：原子力技術部 原子力建築室 担当

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、10月2日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る耐震性に関する説明書及び津波への配慮に関する説明書について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価】

- 機器・配管系に対する加速度応答算定用のばらつき評価の検討ケースについて、各検討ケースで算定された加速度応答が、機器・配管系の設計用床応答に包絡されていることを、整理して提示すること。
- SA用海水ピット取水塔の耐震性についての計算書について、内部配管及び上部鋼製蓋の評価方法等の不足事項を追記して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ V-2-12 水平2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- ・ V-2-1-1 耐震設計の基本方針の概要（原子炉建屋地下排水設備 関連記載抜粋）

- ・建物・構築物の地震応答解析についての補足説明資料 補足-370-10【原子炉建屋地下排水設備に関する補足説明】
- ・V-2-1-6 地震応答解析の基本方針
- ・V-2-10-2-2-1 防潮堤（鋼製防護壁）の耐震性についての計算書
- ・V-3-別添3-2-1-1 防潮堤（鋼製防護壁）の強度計算書
- ・工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち 補足-340-7【水平2 方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について】
- ・建物・構築物の地震応答解析についての補足説明資料 補足-400-1【地震応答解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較】
- ・建物・構築物の地震応答解析についての補足説明資料 補足-400-3【地震応答解析における材料物性のばらつきに関する検討】
- ・V-2-2-27 常設低圧代替注水系ポンプ室の耐震性についての計算書
- ・V-2-2-29 代替淡水貯槽の耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-3 管の耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-2 原子炉建屋地下排水設備排水ポンプの耐震性についての計算書
※資料番号：工認-1096 改4
- ・V-2-2-2-2 原子炉建屋地下排水設備排水ポンプの耐震性についての計算書
※資料番号：工認-1096 改5
- ・V-2-2-2-4 原子炉建屋地下排水設備集水ピット水位の耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-5 原子炉建屋地下排水設備排水ポンプ制御盤の耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-6 原子炉建屋地下排水設備地下排水上屋の耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-7 原子炉建屋地下排水設備排水シャフトの耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-8 原子炉建屋地下排水設備集水ピットの耐震性についての計算書
- ・V-2-2-2-9 原子炉建屋地下排水設備集水管の耐震性についての計算書
- ・V-2-10-4-2 S A用海水ピット取水塔の耐震性についての計算書
- ・工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち 補足-340-8【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について】